

福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話(024)534-7456 (大代表)

©福島建設工業新聞社

公社日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.fk-news.co.jp>

e-mail
hensyu@fk-news.co.jp

EE東北'21

過去最高319者934技術一堂に

新工法集め節目の30回

「広げよう新技術」つた。

なげよう未来へ」をテーマに、建設事業に関わる

委員局長東北地方整備局企画部長の主催で1

990年度から開いている。建設技術公開EE(エ

ンジンアリング・エキシビジョン)東北'21が2、

3日、仙台市宮城野区の夢メッセみやぎで開かれ

る。建設技術公開EE(エ

ンジンアリング・エキシ

ビジョン)東北'21が2、

技術、防災・安全66者1

94技術、建設リサイク

ル・その他17者57技術で

過去最多の計319者9

34技術が展示された。

全邦釘東京大学大学院

工学系研究科総合研究機

構特任教授が「AI技術

を展示した。都市部での

工事着想した仮設事務

所、シャワールームや

ウォシュレット付トイレ

を備え、ユニットごとに

輸送でき、迅速な設置が

可能。寿建設(福島市)

は重機操作シミュレータ

「重機でGO」、トン

ネル漏水対策の「点導水

工法」、トンネルアーチ

鉄筋組立治具「鉄筋ハン

ガー」をパネル・動画等

で紹介した。小野工業所

(同)は橋梁保全研究所

と共同で、地方自治体が

管理する小規模橋梁に適

合性が高く、経済的なブ

レキャストRC取替床版

などをPRした。

設計・施工分野は、旭

洋設備工業(仙台市)が

資源循環型の簡易仮設道

路資材「フラロード」を

紹介。高い通水性により

水田での利用が最適で、

大型タンクや50トンラフ

タレーンの走行が可能

強度を備える。プラスチ

ック貯留材「クロスウェ

ーブ」は、地下に埋設し

雨水貯留槽や浸透槽を構

築する資材。台風やゲリ

ラ豪雨による大雨を地下

に効率・安全に貯留し流

出抑制することで水害被

害を最小限にとどめる。

維持管理・予防保全で、

日綜産業が先行床式シ

テム吊足場「クイックデ

ックデッキライト」を

初出展。通常版に比べ積

載荷重が200キに減少

しているが、最大張り出

し長さ2.5桁を確保。難

な場所でも2.55mまで

吊チェーン本数も従来工

法より70%削減し広い作

業空間を取れる。全体で

約35%の部材軽量化して

いるため、現場規模に合

わせた選択が可能。20

19年度NETIS準推

奨技術に選定された。こ

のほかアンカー工事やボ

ーリング工事で使用す

る削孔器等を設置する機

械 3次元点群処理ソフト

を用いた施工工量計測シ

ステム前田製管「マルチ

コーナー擁壁」▽共和コ

ンクリート工業「フルプレ

キャスト掘門工法」▽鹿島

建設「建築生産プロセス

を変革する「鹿島スマー

ト生産」▽戸田建設「パ

ーチャルNATM・NA

TMITR」▽大成建設

「大成ロテック」工事測量

機として利用でき、導入

コストを抑制できる。

溝ナビ3D NEO」▽

丸栄コンクリート工業

「日立建機日本」物体検知

十動作制限システム「S

TEP3」▽中川ヒュー

ム管工業「立坑兼用マン

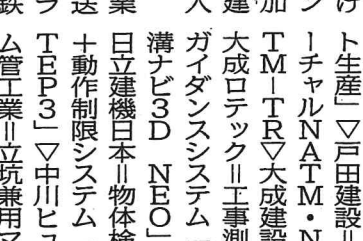
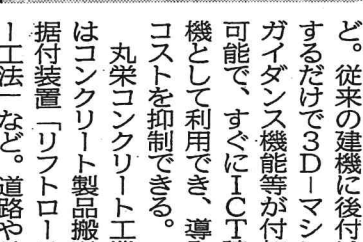
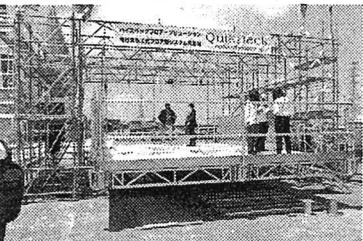
ホール」MMホール工法

道等のクレーン施工が困

り

り

り



(上から) 過去最多の新技術・新工法が集まった会場、藤田建設工業、寿建設、小野工業所、旭洋設備工業、日綜産業の展示